



# 香川の 土地改良

発行所

香川県土地改良事業団体連合会

高松市番町 2 丁目 4 番 27-301 号

TEL (087) 822-0303

FAX (087) 851-1787

<http://www.midorinet-kagawa.or.jp/>



春の訪れ（平成 26 年 3 月 4 日撮影）

## 目 次

1. 第 158 回理事会開催 .....2
2. 土地改良区役職員研修会開催／香川県土地改良換地士部会開催 .....3
3. かがわの農村・ふるさと景観写真コンテスト入賞者決定 .....4～5
4. 「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展 2013 入選作品 .....6
5. 土地改良区だより 満濃町土地改良区 .....7
6. 総会のお知らせ／会と催し .....8

# 本会 第 158 回 理事会 開催

◇◇◇◇◇ 第 56 回 通常総会 3 月 28 日 開催決定 ◇◇◇◇◇

本会の第 158 回理事会が 2 月 14 日、高松市番町の香川県社会福祉総合センター7 階特別会議室において、来賓として香川県から川池農政水産部長、飯間農政水産部次長兼土地改良課長、池田農村整備課長の出席のもと開催された。

冒頭、大山会長の挨拶では、2 月 6 日に平成 25 年度補正予算が成立したことに触れ、平成 25 年度補正予算と平成 26 年度当初予算の概算決定の合計額が今年度比 125.6%の 4,224 億円となり、国土強靱化基本計画に沿って農業の構造改革をさらに加速化させていくことが重要である。この予算をもって農業が足腰の強い産業として成長できる農業施策とともに、農業が有する多面的機能の発揮を図る地域施策を農業農村振興施策の両輪として推進するため、関係者が一丸となって様々な課題に取り組んでいかなければならない。加えて、この予算を所期の目的のとおり稔りあるものにする責任を本会も担っているという自覚をもって、これまで以上に本県農業の発展のため、精一杯農業・農村の振興に努めてまいりたいと述べた。



また、来賓挨拶として川池農政水産部長から、県においては、国の動向を踏まえ、本県農業の活性化に向けた攻めの農業を展開するために平成 26 年度当初予算を編成するとともに、関連する農業振興施策を提案することとしており、来年度早々に農地中間管理機構を設置し、この機構を活用した認定農業者や集落営農組織など、担い手への農地の利用集積の推進をはじめ、遊休農地や荒廃農地の抑止・解消に取り組む予定としている。また、多面的機能の維持を図る日本型直接支払の取組みをはじめ、平成 25 年度を初年度とする老朽ため池整備促進 5 年計画に基づき、平成 23 年度から実施している大規模ため池を中心とする耐震性の点検調査結果に基づく耐震化整備に加え、老朽ため池の整備促進など、総合的な防災・減災対策を進めてまいりたいと挨拶された。

続いて行われた議案審議では、大山会長が議長となり、第 1 号議案から第 11 号議案まで審議され、いずれも原案のとおり承認可決された。

- |          |   |
|----------|---|
| 第 1 号議案  | 平成 24 年度事業報告及び一般会計・特別会計収支決算並びに財産目録の承認について |
| 第 2 号議案  | 平成 25 年度賦課金の調定について                        |
| 第 3 号議案  | 平成 25 年度一般会計・特別会計収支補正予算の理事会専決処分の承認について    |
| 第 4 号議案  | 香川県土地改良事業団体連合会処務規程の一部改正について               |
| 第 5 号議案  | 平成 26 年度事業計画並びに一般会計及び特別会計収支予算について         |
| 第 6 号議案  | 平成 26 年度賦課金の賦課基準並びに賦課徴収の時期及び方法について        |
| 第 7 号議案  | 一時借入金の借入先及び借入限度額について                      |
| 第 8 号議案  | 平成 26 年度役員報酬について                          |
| 第 9 号議案  | 預託金融機関の決定について                             |
| 第 10 号議案 | 役員補欠選任について                                |
| 第 11 号議案 | 総会の開催について                                 |

## 土地改良区役職員研修会開催

去る 2 月 7 日、高松市番町の香川用水記念会館において、土地改良推進事業の一環として、土地改良施設の管理をはじめ、土地改良区の健全な組織運営等を目的とする土地改良区役職員研修会を開催した。この研修会には、厳しい寒さの中であったが、県、市町、土地改良区の役職員 63 名が熱心に受講された。

開会に当たり、本会の山地常務理事の挨拶の後、中国四国農政局農村計画部土地改良管理課の大木課長をはじめ、各講師から土地改良区の会計経理や賦課金・会計システム、不祥事の未然防止などの課題の解決策等について詳細な説明があった。なお、研修内容は下記のとおりである。



研 修 科 目	講 師
土地改良区を巡る最近の情勢について	中国四国農政局農村計画部土地改良管理課 課長 大木 昭一
水土里ネット賦課金・会計システムについて	香川県土地改良事業団体連合会 副主幹 澤田 美登利
土地改良区の会計経理について	香川県農政水産部土地改良課 副主幹 岡田 直樹
土地改良区の不祥事未然防止と役員の責務について	中国四国農政局農村計画部土地改良管理課 課長補佐 川嶋 等
日本型直接支払（多面的機能支払）について	香川県農政水産部農村整備課 課長 池田 正志
土地改良施設の管理について －維持管理適正化事業－	香川県土地改良事業団体連合会 主幹 泉川 祥治

## 香川県土地改良換地士部会開催

去る 2 月 21 日、香川用水記念会館 5 階演習室において、平成 25 年度香川県土地改良換地士部会を開催した。

同部会は、換地に関する各種の情報交換を行うとともに、換地に係る技術の向上及び適正かつ効率的な事務の執行を目的に毎年度開催しており、今年度は、部会員 26 名のうち 13 名が出席した。

開会に当たり、本会野瀬参事より本県の換地を取り巻く状況の報告などの挨拶があり、引き続き下記の議題について協議し、活発な意見が交わされた。

【議題】(1) 部会長及び副部会長の選任について

部会長 西紋彰彦

副部会長 香川県土地改良事業団体連合会換地登記課 課長 福島一順

(2) 平成 25 年度換地処分事務量及び処理状況について

(3) 平成 25 年度換地関係異議紛争処理対策検討会の報告



## 第13回 かがわの農村・ふるさと景観写真コンテスト 入賞者決定

2月7日、「かがわの農村・ふるさと景観写真コンテスト」の審査会が香川県社会福祉総合センターにおいて開催された。この写真コンテストは、県内におけるふるさとの農業や農村を見直し、美しい風景や豊かさを再発見しようと平成12年度から香川県が実施しており、本年度は応募作品216点の中から最優秀賞には、綾川町の棚田を撮影した横山雪子さん（観音寺市）の「藁ぐろのワタ帽子」が輝いた。このほか香川県農業協同組合中央会長賞1点、香川県土地改良事業団体連合会長賞1点、優秀賞4点、入選5点、佳作10点の入賞作品が選ばれた。

入賞作品は、4月14日から18日までの間、県庁東館1階のギャラリーで展示される。

### 最優秀賞



「藁ぐろのワタ帽子」 横山 雪子

撮影場所：綾歌郡綾川町

優 秀 賞



「冬日射す」 秋山 育代  
撮影場所：綾歌郡綾川町



「落とすなよー」 大林 重信  
撮影場所：仲多度郡まんのう町



「思い出」 斉藤 延子  
撮影場所：小豆郡土庄町（豊島）



「村里の子ども達」 中塚 英男  
撮影場所：小豆郡土庄町

香川県農業協同組合中央会長賞



「春の葛籠野」 森江 正  
撮影場所：仲多度郡まんのう町

香川県土地改良事業団体連合会長賞



「水路清掃の日」 佐伯 登  
撮影場所：観音寺市柞田町

## 「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展 2013 入選作品

全国土地改良事業団体連合会、各都道府県土地改良事業団体連合会では、「ふるさとの田んぼと水」絵画展の開催に当たり、全国の小学生や幼稚園・保育園児の作品を募集したところ、本年度は8,650点の応募があった。これら応募作品の厳正な審査によって入賞作品19点、団体賞作品42点、入選作品118点が決定した。なお、本県からは6名の園児らの作品が入選した。



「はじけるカブトエビと田んぼ」

社会福祉法人 和光保育園  
野崎 慎 (4歳)



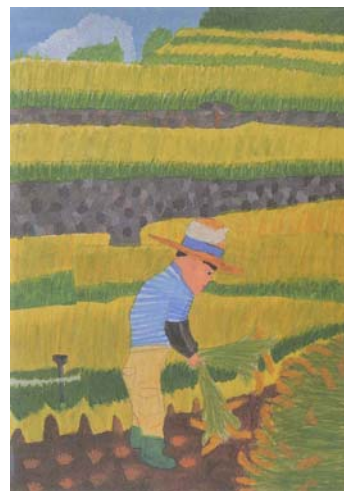
「田植えをするおじさん」

社会福祉法人 和光保育園  
清水 蒼空 (6歳)



「田んぼをたがやしている風景」

善通寺市立筆岡小学校  
大林 正道 (1年)



「稲が実る」

香川大学教育学部附属高松小学校  
加地 倫子 (5年)



「袋かけみかんの収かく」

香川大学教育学部附属高松小学校  
野角 咲菜 (5年)



「七月のあじさいと棚田」

香川大学教育学部附属高松小学校  
秋田 佳志乃 (6年)

## ～土地改良区だより～

### 満濃町土地改良区（仲多度郡まんのう町）

満濃町土地改良区は、平成 2 年 4 月、旧満濃町内の長尾土地改良区をはじめ、蛭池、羽間、東高篠、神野、長炭の 6 土地改良区が合併して設立された。

当土地改良区管内には、町名の由来となった日本有数の規模を誇る「満濃池」があり、本県南西部の徳島県との県境を接する讃岐山脈の麓に位置し、その讃岐山脈を源流とする一級河川の土器川、満濃池を起点とする二級河川金倉川が流下する丘陵地に拓けた水田及び畑 841ha を受益地域とする。



町特産の「はざまイチジク」

また、管内北西部の羽間地域では、水稻や麦のほか、イチジクやかりん、ブロッコリーなどの果樹や野菜の栽培が盛んである。特に、かりん、イチジクは県内でも有数の産地を形成している。このうち、かりんは昭和 63 年 5 月 22 日、満濃池森林公園を会場として、第 39 回全国植樹祭が挙行された時、昭和天皇の御名代として皇太子殿下、美智子妃殿下によって満濃町環境改善センターでかりんの種子がお手蒔きされた。その後、大切に育成されたかりんが、平成 12 年 4 月 29 日に挙行された第 11 回全国「みどりの愛護」の集いで皇太子殿下、雅子妃殿下によって植樹されるなど、まんのう町を代表する果樹として全国第 2 位の収穫量を誇る特産物である。

また、イチジクについても、温暖な瀬戸内海式気候と土器川流域の肥沃な土壌などの栽培条件に恵まれ、6 月～7 月に熟する夏果と、8 月～10 月に熟する秋果があり、甘くて瑞々しい味と香りはまんのう町の季節の代名詞となっている。農山漁村活性化プロジェクト事業で整備された羽間地域を中心に栽培されるイチジクは「はざまイチジク」としてブランド化され、活発に生産活動が展開されている。このほか、東部中山間地域の丘陵地では、昭和 45 年に団体営農地開発事業によって造成された農地(畑)12 ヘクタールにおいてもお茶が栽培されるなど、産地の形成が進んでいる。

現在、栗田理事長(まんのう町長)を中心に土地改良区の役職員が一丸となり、地域農業のより一層の発展を目指し、各種土地改良事業の推進はもとより、農業水利施設の保全管理や適切かつ効率的な配水管理に積極的に取り組んでいる。



栗田隆義理事長（右から二人目）と職員

#### 土地改良区の概要

所在地	仲多度郡まんのう町四條 734 番地 1
設立年月日等	平成 2 年 4 月 1 日 香川県第 283 号
関係市町	まんのう町
管内農地面積	841ha（田 698ha、畑 143ha）
組合員数	1,510 人（総代 48 人）
役職員数	理事 17 人、監事 2 人

## 通常総会のお知らせ

本会の第 56 回通常総会並びに第 53 回土地改良功労者表彰式を下記により開催します。

記

1. 日 時 平成 26 年 3 月 28 日（金）午前 10 時
2. 場 所 高松市玉藻町 9-10  
アルファあなぶきホール（香川県県民ホール）  
多目的大会議室（小ホール棟 5 階）

## 会 と 催 し

開催月日	会 の 名 称	開催場所
2 月 12 日	高松市管内土地改良区周知会	高 松 市
13 日	「T P P 交渉への参加に反対する香川県ネットワーク」事務局会議	高 松 市
14 日	第 158 回理事会	高 松 市
〃	香川用水記念会館・耐震化対策等検討委員会（第 1 回）	高 松 市
17 日	仲多度土地改良事業推進協議会第 2 回役員会	善通寺市
18 日	中部地区土地改良協議会第 2 回役員会	高 松 市
〃	平成 26 年度土地改良施設維持管理適正化事業等の実施計画打合せ会	東 京 都
17 日	綾歌郡永富池土地改良区平成 26 年通常総代会	高 松 市
21 日	香川県土地改良換地士部会	高 松 市
24 日	香川県農業会議常任会議員会議	高 松 市
〃	香川県農業再生協議会担い手部会及び耕作放棄地部会	高 松 市
25 日	陶地区宮藪集落に係る人・農地プラン検討会	綾 川 町
〃	平成 25 年度土庄町地域農業再生協議会臨時総会	土 庄 町
〃	平成 26 年度仲多度土地改良事業推進協議会通常総会	琴 平 町
26 日	平成 25 年度第 2 回香川県農業水利施設管理検討委員会	高 松 市
27 日	香川県農業再生協議会第 9 回総会	高 松 市
〃	都道府県土地改良事業団体連合会事務責任者会議	東 京 都
3 月 3 日	中国四国土地改良事業団体連合会協議会事務責任者会議	山 口 県
5 日	平成 26 年度中部地区土地改良協議会通常総会	高 松 市
〃	中国四国農政局香川用水土器川沿岸農業水利事業所香川用水支所閉所式	観音寺市